



「黙然」(1997)

——逃げ水を追って——
大西 忠夫展

1999年3月5日(金)～3月22日(月・祝)

開館時間／午前9時～午後5時(展示室への入室は午後4時30分まで)／初日は午前10時より開展／毎週金曜日は午後7時まで開館(展示室への入室は午後6時30分まで)／月曜日は休館(但し、3月22日は開館)

入場料／一般 **700円**(560円) 高大生 **400円**(320円) 小中生 **200円**(160円) ()内は前売りおよび団体20名様以上の料金

●高松市に住所を有する長寿手帳・身体障害者手帳・療育手帳または精神障害者保健福祉手帳所持者は無料 ●第2土曜日は小・中・高生無料

高松市美術館 Takamatsu City Museum of Art
 高松市紺屋町10-4 TEL.087-823-1711

主催／高松市美術館・四国新聞社・西日本放送 後援／香川県・香川県教育委員会・普通寺市・普通寺市教育委員会・丸亀市・丸亀市教育委員会・坂出市・坂出市教育委員会
 観音寺市・観音寺市教育委員会・NHK高松放送局 協力／大西忠夫展に協力する会



「躰美」(1997)

1918年、香川県善通寺市中村町に生まれた大西忠夫は、1936年に香川県立工芸学校を卒業後、堆朱楊成に師事しましたが、伝統的な彫漆技法を継承するだけにあきたらず、現代に即応した新しい漆芸の生き方を求め、壮大な大画面に絵画的な作品を創造しています。

また、1949年には戦後の新しい工芸を目指した「うるみ会」に参加し、1955年第11回日展では、彫漆による4曲屏風「林」が特選を受賞。また

1984年香川県文化功労者となり、1992年には勲四等瑞宝章を授章しています。

本展は、大西忠夫の初めての本格的な展覧会で、漆工芸の中に心象的な要素を取り入れることによって、平面作品に新しい表現領域を切り拓いた独自の世界を屏風、漆パネルなど約110点で構成するものです。

「土」(1981)



「まなのはなさく」(1968)



「春夢」(1984)



「月昇る」(1987)

◎講演会のお知らせ

「私と大西忠夫」

講師：清水九兵衛（彫刻家、陶芸家、七代六兵衛）
 泉 忠夫（四国学院短期大学講師）
 3月7日（日）午後1時30分から／高松市美術館1階講堂にて
 入場無料／先着200名様

◎ギャラリートーク

当館学芸員が展示作品の解説をいたします。
 3月13、14、21、22日 / 午後2時より2階展示室にて
 併せて会期中、展示室にて作者本人による作品解説会も実施予定
 いたします。